

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月 9日更新

事務事業名		介護保険特別会計繰出金等事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	佐藤 美和
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実			所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	26	介護保険サービスの適切な提供			所属班	介護保険班	(内線)	1163
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10498 他	根拠法令	介護保険法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成12年度から介護保険制度開設とともに介護保険法第124条(市町村の一般会計における負担)に基づき開始された。 ○介護保険事業の健全な運営を図るため、介護保険特別会計に対し、介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない事務費等分を繰り出す。 【法定負担分】 介護特別会計の (1)介護給付費の12.5%、 (2)地域支援事業(介護予防・生活支援サービス事業)費の12.5%、 (3)地域支援事業(包括的支援事業・任意事業)費の19.25% 【事務費等分】 介護特別会計の (1)総務費 及び (2)地域支援事業(特定事業)費等の全額
【業務の流れ】	繰出金の支払(年4回)
【主な予算費目】	補助金、繰出金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	○非常用自家発電設備などを設置する高齢者施設等事業者に対して、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金等を活用し、必要な経費の補助を行った。 ○高齢者住宅改造成事業について補助金申請があり、補助を行った。 ○介護保険特別会計への繰出しを行い、費用を適正に負担することにより、安定した介護保険事業の運営に努めた。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 法定割合に基づく負担及び事務費等の必要額について、介護保険特別会計への繰出しを行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア:繰出金額(法定負担分)	千円	介護給付費等の増に伴う介護保険特別会計への繰出金等の増
イ:繰出金額(事務費等分)	千円	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市介護保険事業		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア:介護サービス利用者数 人 イ:要支援・要介護認定者数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護保険事業の運営が健全かつ円滑に行える		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア:介護保険認定者の利用率 % イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠 介護保険事業を健全かつ円滑に運営することは、この事務事業の上位基本事業「高齢者支援体制の充実」の意図「高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる」に結びつくので、その成果指標「介護保険認定者の利用率」とした。利用率は、全国・県ともに平均80%である。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 千円	574,244	652,830	670,505	655,738	671,577	748,042	772,482	797,991	
	イ 千円	49,600	37,002	59,439	36,364	40,967	45,787	47,284	48,845	
②対象指標	ア 人	2,236	2,270	2,486	2,349	2,626	2,717	2,812	2,910	
	イ 人	2,622	2,686	2,925	2,750	3,090	3,164	3,239	3,316	
③成果指標	ア %	85.28	84.52	85	85.43	85	85	85	85	
	イ									
投資入費量	国庫支出金	千円	14,436	25,711	27,122	25,982	25,335	25,852	25,874	26,148
	都道府県支出金	千円	7,340	45,136	37,335	18,868	21,507	73,120	13,186	13,323
	地方債	千円								
	その他	千円				127				
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	602,451	640,787	655,378	654,347	674,981	690,340	781,206	807,865
	(A)事業費計	千円	624,227	711,634	719,835	699,324	721,823	789,312	820,266	847,336
	(A)のうち指定経費	千円	623,844	678,915	694,663	692,102	712,665	728,800	819,766	846,836
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	3	1	2	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	70	105	50	60	50	50	50	50	
(B)人件費計	千円	277	414	199	234	199	199	199	199	
トータルコスト(A)+(B)	千円	624,504	712,048	720,034	699,558	722,022	789,511	820,465	847,535	

事務事業名	介護保険特別会計繰出金等事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 過去3年間の実績値及び第8期介護保険事業計画を参考に算定しており、達成見込みである。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 日常生活を営むために要介護認定を受け、介護サービスや介護予防サービスを利用している高齢者を対象としているが、一部は継続的なサービスを必要とせず、住宅改修や福祉用具購入のみの人もいるため、成果指標の85%の設定は妥当である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 今後も高齢者人口の増加に伴い、要介護認定者数及び介護サービス給付費の増加が予想される。介護保険法に一般会計の負担割合が定められているため、繰出金も介護給付費の伸びに合わせて年々増加することが想定され、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 繰出金支出事務等に係る必要最小限の業務時間数である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公的保険制度である介護保険事業 (特別会計) の運営に必要な費用を法に基づき適正に負担している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 介護特別会計への繰出しは、法に定められた市が行う事務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

介護保険事業 (特別会計) の運営に必要な費用を法に基づき適正に負担した。合志市の介護保険事業 (特別会計) の運営に必要な事業であり、今後も適正に取り組んでいく。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						